

新型コロナワクチンBooster接種について

新型コロナワクチンBooster(3回目)接種は新型コロナウイルスへの感染、発症を予防する効果が期待されます。

【当院で接種可能なワクチン】
ファイザー / モデルナ のいずれか

【接種で期待できる効果】

- ・新型コロナに対する抗体は接種後7日目には上昇
- ・2回目接種後に比べて2倍程度の抗体反応が出る
- ・接種7日目の時点で2回接種者より95.6%の感染予防効果

【副反応】

- ・軽いものも含めて副反応が48時間以内に約80%の方に見られる
- ・よくある副反応は「局所の疼痛」「発熱」「頭痛」「倦怠感」など
- ・2回目と比較してほぼ同じか少し少ない割合で副作用が見られる
- ・リンパ節腫大(10%前後)の副反応が見られることもある

当院の接種対象者(いずれかに該当)

- ・医療従事者で2回目から6か月以上経過した方
- ・高齢者で2回目接種から6か月以上経過した方
- ・3回目接種の接種券をお持ちの方

※接種券は2回目接種から6~8か月後を目安に送付されます。

■新型コロナワクチンに関する相談先

身体に異常がみられたとき



愛知県新型コロナウイルス感染症健康相談窓口
052-954-6272 (月~日・祝日 9時~17時30分)
※上記以外の時間は下記にご連絡ください
【夜間・休日専用窓口】 052-526-5887

ワクチン接種全般に関して



瀬戸市新型コロナウイルスワクチン接種
コールセンター
0561-56-0200 (月~金 8時30分~20時
土日祝 8時30分~17時15分)



こだま耳鼻科クリニック

ぜひLINE
ご登録ください!



新型コロナワクチンBooster接種後の注意

新型コロナウイルスワクチン接種後には副反応が見られることがあります。副反応が見られた場合は無理をせずに対応して下さい。



一時的な副反応

発熱

発赤

悪寒

倦怠感

頭痛

疼痛

緊急性の高い副反応

顔のおくみ

蕁麻疹

めまい

呼吸困難

頻脈

接種日当日

接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

アナフィラキシー	<ul style="list-style-type: none"> ・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。 ・じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。 ・起こることは極めて稀ですが、摂取後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。
血管迷走神経反射	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種に対する緊張や強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。 ・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常横になって休めば自然に回復します。倒れて怪我をしないよう背もたれのある椅子に座って様子を見て下さい。

ワクチンを受けた日の注意点

- 激しい運動は控えてください。
- 接種部分は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないにしましょう。
- 飲酒は控えてください。



接種後数日

接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10~50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1~10%	吐き気、嘔吐

- ・接種翌日から通常の生活が可能ですが、1週間は副反応の出現にご注意ください。
- ・接種後は持病の薬は普段通り服用していただけます。
- ・他のワクチンは接種後14日以内は打たないでください。
- ・Boosterワクチンの効果は7日後頃から有意に出ると言われています。
- ・異常があれば速やかに相談窓口(052-954-6272)にご連絡ください。